みなさんと議会を結ぶ

西和賀町 議会だより

No.43
平成28年8月1日号
発行・岩手県西和賀町議会

6月定例会（6月15日～17日）

主な内容

・機構改革に伴う庁舎改修を問う…２Ｐ
・一般質問……８Ｐ

そのほか

・「あの件はどうなった」七内川1号橋完成近づく…15Ｐ

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.29

西和賀高校バドミントン同好会

勝利に向かって、一打に気持ちを込める!!

体育館内の暑さにも負けず、常に試合を意識した練習に励んでいます。
（写真は６月27日西和賀高校体育館での練習）

機構改革に伴う庁舎の改修を問う

建設課

湯田庁舎１階の建設課と上下水道課を沢内庁舎に

上下水道課

学務課

沢内庁舎１階の学務課と銀河ホールの生涯学習課を湯田庁舎に

生涯学習課

【沢内庁舎】

【湯田庁舎】

観光商工課

湯田庁舎３階の観光商工課を１階に

第８回６月定例会は６月15日から17日まで開催し、平成28年度補正予算や乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例など25案件を審議し、原案のとおり可決しました。

このうち、平成28年度一般会計補正予算の審議で、庁舎改修事業について質問が集中しました。

すべての審議結果は５ページから７ページを、一般質問は８ページから14ページをご覧ください。

今回の一般会計補正予算審議の中で町当局から、機構改革に伴い課の配置換えが必要となり、庁舎改修事業を行うとの説明がありました。

内容は、現在湯田庁舎に配置している建設課と上下水道課を沢内庁舎へ配置換えするための改修費用として１７９０万９０００円を計上するものでした。

また、現在の建設課と上下水道課のフロアには、湯田庁舎３階にある観光商工課を移動し、観光商工課のフロアには、沢内庁舎にある教育委員会学務課と銀河ホールにある生涯学習課を移動する内容でした。

今回の質疑では議長から質問回数の制限を超えての質疑が認められ、議員からは、なぜ６月に予算計上をしたのか、各課との協議は十分に行ったのかなど長時間にわたって議論がなされました。

この質疑の状況を要約してお知らせします。

審議の様子

問　6月補正で提案した理由を伺う。

町長　町では以前から地域資源や地域財産を活用したまちづくりをテーマに進めている。このまちづくりを効果的に進めるため、農業等を中心とした産業振興を沢内庁舎に、医療・保健・福祉は病院周辺の大野地区に、湯田庁舎は総務・教育・観光の拠点と位置づけ、再配置しようと考えている。

　年度初めの施政方針演述に盛り込んだ内容を、実際の事業は準備ができ次第、年度途中でも着手していく考えから、この時期になった。

問　町長、副町長、教育長3役が全て湯田庁舎に行くことは、住民感情を考慮する必要があるのではないか。説明資料として配付した合併協定書には、住民全体の施設として利用しやすい形態になるよう十分に協議をして進める必要があると書かれている。そういう意味で、庁内の協議も深めた議論はあったのか。

町長　この数年間、私はまちづくりの方針として地域の拠点を置くことを強く訴えてきた。職員に関しては、どこにいても、職務を遂行する方針を踏まえていれば町の振興に理解してもらえると考えている。

問　庁内で協議を行った回数、あるのであれば議事録を提出することはできるか。

町長　庁議や課長会議等で考え方を説明しながら意見をもらうという会議を経ている。

問　3月定例会から6月補正までの間に、課を移設することに関して各課との協議はどういうかたちで行われたのか。

町長　今日に至るまでまちづくりの拠点として、それにふさわしいポジションがいいだろうということで継続的に協議し、意見交換をしてきた。

問　町民に対するサービスと、課としての仕事、移動する分も含んだタイムスケジュールを教えてほしい。

総務課長　沢内庁舎の改修後、おおむね10月から11月になるかと考えている。

問　今回の配置換えで、教育委員会が湯田庁舎に行った後の場所はどのように利用されるのか。

総務課長　現在の学務課の場所は確定申告などで活用するという考え方でいきたいと思っている。

問　沢内庁舎は耐震性能に問題があり、補強工事では対応できないと聞いた。沢内庁舎をどうするか、耐震についてどう対応していくかということが初めにあって配置換えをするべきではないか。

町長　耐震補強に関しては、新設がふさわしい、また必要というかたちになればそれに着手していくことになろうかと思う。

問　議会と行政が一体となって、地域づくりをしようという思いで、議会基本条例を定め、第6条では定期的に当局と情報交換を行うことと規定しているが、詳細についての説明がなく、突如、課の配置換えのための庁舎改修にかかる予算を出したのはどういうことか。

町長　4月の政策研究会、6月の議会資料説明会で考え方を示したつもりであったが、私の説明不足だったのかと経緯を振り返っている。

問　1点目、建設課にはいろんなシステムがたくさんあると思うが、移動に金をかけないで簡単にできるものなのか。2点目、教育長室の改築した時期と予算を教えてほしい。

上下水道課長　上下水道課の部分は、簡易水道特別会計予算に上下水道料金システム移行分として8万1000円、沢内地区中央監視装置移設費用270万円という補正を行っている。

学務課長　教育長室の改修は26年度に行っており、72万9000円の事業費だった。

問　たった2年ぐらいで使わなくなるということは、はっきり言って役所だからできると思う。無駄遣いをしたという感じも受けるが。

教育長　以前のような教育長室は話が全部漏れる状況だった。教育長の業務は人事をはじめ処分等もあり、非常に高度な秘密を要することが多い。2年間とはいえ無駄であったとは考えていない。

問　一番心配なのは、移動は自分たちでやるのか。これ以上の予算追加は無いのか。

総務課長　今回の補正予算には書類等の移動経費は計上していない。

問　庁舎等改修事業を一時凍結し、役場庁舎内と議会等々でコンセンサスを得る必要がないかということで凍結できないものか。

町長　先ほどから、たくさんの意見をいただいた。庁舎など改修事業の執行に当たっては議員皆様と十分協議を重ねて進めさせていただきたいと考えている。

町長行政報告

公用車による事故の損害賠償　ほか

接触したごみ収集車。なお、一層の事故防止を願います。

第8回6月定例会会期日程（6月15日~6月17日まで）

月　日	内　容	関連ページ
15日（水）	・諸報告	4ページ
	・一般質問	2~6ページ
	佐々木孝道議員 髙橋和子議員 淀川豊議員 刈田敏議員	8~14ページ
16日（木）	・一般質問 児玉正彦議員 髙橋輝彦議員	8~14ページ
	・議案審議 報告２件 承認６件 条例２件	6~7ページ
	補正予算１件	2~3ページ
17日（金）	・議案審議 補正予算７件 そのほか６件 同意１件	6~7ページ
	・請願と陳情 陳情　新規２件	6~7ページ
	・発議２件	6~7ページ
	・議員派遣の件	15~17ページ

①議会の回数は、定例会、臨時会も含めた回数で、議員の任期（4年間）での累計開催数を表します。
②15日、17日に常任委員会を行いました。

●公用車事故の示談成立

平成28年3月7日に発生した一般住宅玄関前の手すりご収集車による損害賠償等、相手方から請求額の確定通知を受け、話し合いが調い、議会の委任による専決処分を行いました。

事故は、3月7日、湯本地内で、ごみの収集作業後に車をUターンするためバックした際に、一般住宅玄関前の手すりに接触し、手すり及び基礎部分を破損させたものです。

事故に伴う町の損害賠償金額は35万1216円となり、全額を保険金により支払うものです。

事故の原因が、不注意、確認不足であることから、注意を行いその後の事故防止に努めてきたところです。

●峠山パークランドオアシス館内で発生した事故の損害賠償

平成27年9月21日に発生した峠山パークランドオアシス館内においてオアシス館の来館者が負傷した事故に伴う損害賠償で、相手方から請求額の確定通知を受け、話し合いが調い、議会の委任による専決処分を行いました。

事故は、9月21日に峠山パークランドオアシス館にて来館者が男子風呂を利用した際に、床板の左一部が割れ、割れた床板で左足部を負傷したものです。

事故に伴う町の損害賠償金額は2万3280円となり、全額を保険金により支払うものです。

今後は、点検等を徹底するなど、施設の安全な管理、運営に努めてまいります。

紙上クイズ　スミからスミまで

空欄に適切なことばをいれてご応募ください。
当選者（３人）には豪華景品を差し上げます!!

問題文

1．機構改革に伴う庁舎改修費用は○○９０万９０００円です。（数字２ケタ）
2．西和賀町議会は○○県鹿足郡吉賀町と津和野町に議員を派遣しました。（漢字２文字）
3．今号の末永～く「生涯現役」は白木野○○会です。（漢字２文字）

前回号の答え　1．16　2．62　3．特選

【応募方法】
はがきやFAXで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先をご記入ください。また、議会に対するご要望、ご意見などがありましたら、あわせてご記入ください。なお、匿名での受付はしません。

【応 募 先】
〒029-5692
西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、FAXの場合は0197-81-2008まで

【締め切り】8月22日消印有効とします。

【発　　表】
次回号で当選者（特に断りが無い限り、氏名と地域）を発表します。

【№42の当選者の発表】
菊池たみ子様（湯本）、石沢ミツ子様（天ヶ瀬）
髙橋タ美子様（川舟）おめでとうございます。

私たちのくだした判断　第８回６月定例会・議員ごとの賛否状況

※議案順に掲載しています。審議順ではありません。

番号		議案名（一部省略しています）	関連ページ	淀川豊	髙橋雅一	柳沢安雄	髙橋和子	髙橋輝彦	佐々木孝道	髙橋到	児玉正彦	刈田敏	早川久衛	柿澤繁俊	深澤重勝
報告	１号	平成27年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	２号	平成27年度下水道事業会計予算繰越明許費繰越計算書について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認	１号	税条例等の一部を改正する条例の専決処分		○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
	２号	復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	３号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の専決処分		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	４号	平成27年度一般会計補正予算の専決処分（温泉事業繰出）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	５号	平成27年度温泉事業特別会計補正予算の専決処分		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	６号	平成27年度一般会計補正予算の専決処分（基金積立等）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条例	１号	乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	２号	ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
補正予算	３号	平成28年度一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	４号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	５号	平成28年度介護保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	６号	平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	７号	平成28年度下水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	８号	平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	９号	平成28年度温泉事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	10号	平成28年度町立西和賀さわうち病院事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
その他	11号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
財産取得	12号	除雪ドーザの取得		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	13号	ロータリ除雪車の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
工事契約	14号	町道東側幹線道路改良・橋梁整備工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	15号	湯田地区簡易水道施設統合整備事業水源・浄水場建設工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	16号	湯田地区簡易水道施設統合整備事業機械・電気計装設備工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意	１号	人権擁護委員候補者の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情	10号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度堅持及び拡充、教育予算拡充を求める陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	11号	「被災児童生徒就学支援等事業交付金」継続に向けた国への働きかけを求める陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議	1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度堅持及び拡充、教育予算拡充を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	2号	「被災児童生徒就学支援等事業交付金」継続を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議員派遣		議会行政視察研修（島根県鹿足郡吉賀町・津和野町）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

表の見方：「○」は賛成、「●」は反対。採決の際の棄権は「棄」、欠席は「欠」、遅刻は「遅」、早退は「早」を表し、「ー」は採決に加わらなかったことを表します。また、深澤議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

6月定例会

このように決まりました

審議の中身

平成28年度補正予算の承認
除雪車両の取得 ほか

予算繰越の報告

一般会計と下水道事業特別会計で27年度の年度内に完了することができなかった事業を28年度に繰り越すとの報告がありました。額や内容は表1をご覧ください。

繰越明許費とは

町の予算は「会計年度独立の原則」により、その年度の支出は、その年度の収入をあてることになっています。

特別な事情で年度内に事業が完成できない場合は、翌年度に繰り越すことが認められています。

専決処分の承認

●税条例等の一部を改正する条例

承認 ▼ 賛成10・反対1

【内容】地方税法施行令等が改正されたことから条例の一部を改正しました。

●復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

承認 ▼ 全員賛成

【内容】東日本震災復興特別区域法第43条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部が改正されたことから条例の一部を改正しました。

●固定資産評価審査委員会条例の一部改正

承認 ▼ 全員賛成

【内容】行政不服審査法及び行政不服審査法施行令が改正されたことから条例の一部を改正しました。

●平成27年度予算の補正

承認 ▼ 全員賛成

表2、表3のとおり、平成27年度予算を補正し、全員賛成で承認しました。

平成28年度予算の補正

表4のとおり、平成28年度8会計の予算を補正し、全員賛成で可決しました。

条例の一部改正

●乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部改正

可決 ▼ 全員賛成

●ひとり親家庭医療費給付条例の一部改正

可決 ▼ 全員賛成

【内容】小学校に入学する前の子供、妊産婦、重度心身障害者、ひとり親家庭世帯が県内の医療機関等で医療を受けたときの医療費を町が代わりに医療機関等に負担できるよう条例を改正しました。

財産の取得

●除雪ドーザの取得

可決 ▼ 全員賛成

除雪機械の老朽化に伴い、町では14t級除雪ドーザを更新します。契約の相手先はキャタピラー東北株式会社で、契約金額は3443万400円です。納期は平成28年12月20日です。

●ロータリ除雪車の取得

可決 ▼ 全員賛成

除雪機械の老朽化に伴い、町では220kW級ロータリ除雪車を更新します。契約の相手先は日立建機日本株式会社で、契約金額は3213万円です。納期は平成28年12月20日です。

工事契約の締結

●町道東側幹線道路改良・橋梁整備工事を契約

【表1】 28年度に繰越す予算

会計	事業所	繰越金額	繰り越した事業
一般会計	9事業	2億855万円	ローカルブランディング加速化事業　3800万円 年金生活者等支援臨時給付金　6242万円 ほか
下水道会計	1事業	1312万円	浄化槽市町村整備推進事業　1312万円

【表2】 平成28年3月22日付専決処分での平成27年度予算の補正

項目	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	78億741万円	766万円	78億1508万円	温泉事業特別会計繰出金　766万円
温泉会計	9743万円	766万円	1億510万円	ほっとゆだ源泉ポンプ修繕　766万円

【表3】 平成28年3月31日付専決処分での平成27年度予算の補正

会計	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	78億1508万円	2億9558万円	81億1067万円	財政調整基金積立金　2億9158万円 ほか

可決 ▼**全員賛成**

町道東側幹線道路改良・橋梁整備工事を契約しました。契約の相手方は、有限会社高幸建設で、契約金額は1億368万円です。

●**湯田地区簡易水道施設統合整備事業水源・浄水場工事を契約**

可決 ▼**全員賛成**

湯田地区簡易水道施設統合整備事業水源・浄水場工事を契約しました。契約の相手方は、北海土木工業㈱・㈱田中建設特定共同企業体で、契約金額は8億2944万円です。

●**湯田地区簡易水道施設統合整備事業機械・電気計装設備工事を契約**

可決 ▼**全員賛成**

湯田地区簡易水道施設統合整備事業機械・電気計装設備工事を契約しました。契約の相手方は、理水科学㈱仙台支店で、契約金額は3億5046万円です。

人権擁護委員の推薦

同意 ▼**全員賛成**

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、人権の相談を受け、問題解決の手助けや、人権の考えを広める活動をします。委員は、法律により議会の同意が必要で、次の者を候補者として再薦することに同意しました。

藤原忠正さん
（川尻2区・65歳）

そのほか

・**岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求める案件**

【内容】平成28年3月31日に岩手北部広域環境組合が解散したことに伴い、岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体から除きました。

みなさんの願い

●**請願はありませんでした。**

●**陳情**

・**30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度堅持及び拡充、教育予算拡充を求める陳情**

採択 ▼**全員賛成**

【提出者】岩手県教職員組合和賀支部　支部長及川巧さん

【内容】少人数学級の推進や教育予算の充実を図るため地方交付税を含む国の予算の拡充や教職員定数の改善を求める陳情。

・**「被災児童生徒就学支援等事業交付金」継続に向けた国への働きかけを求める陳情**

採択 ▼**全員賛成**

【提出者】岩手県教職員組合和賀支部　支部長及川巧さん

【内容】東日本震災で被災し、経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学が保障されるよう、平成29年以降も交付金の継続を求める陳情。

議員発議

●**意見書の提出**

・**30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度堅持及び拡充、教育予算拡充を求める意見書**

可決 ▼**全員賛成**

・**「被災児童生徒就学支援等事業交付金」継続を求める意見書**

可決 ▼**全員賛成**

請願で採択された案件は関係省庁や機関に西和賀町議会からの意見として意見書を提出しました。

議員派遣

可決 ▼**全員賛成**

平成28年7月5日から7日まで、行政視察研修として島根県鹿足郡吉賀町と津和野町に議員11人を派遣することにしました。

【表4】　今定例会での平成28年度予算の補正

項　目	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	主な内容
一　般　会　計	63億7600万円	1億8241万円	65億5841万円	湯田庁舎等管理費　1790万円、地熱開発理解促進事業（湯本温泉熱水）　2390万円ほか
国　保　会　計	8億6864万円	40万円	8億6904万円	納付金等算定標準システム連携用データ作成業務委託　40万円
介護保険（保険事業勘定）	11億3692万円	18万円	11億3710万円	地域包括支援センターシステム機器設置業務委託　12万円　ほか
簡　易　水　道　会　計	27億4663万円	428万円	27億5091万円	沢内地区中央監視装置移設業務委託　270万円　ほか
下　水　道　会　計	4億414万円	130万円	4億544万円	マンホールポンプ制御盤修繕　130万円
農業集落排水事業会計	5019万円	370万円	5389万円	北川舟浄化センターばっき装置修繕　370万円
温　泉　会　計	8961万円	524万円	9485万円	穴ゆっこ源泉状況調査業務委託　324万円　ほか
沢内病院会計（収益的収支）	9億9184万円	26万円	9億9210万円	窓清掃業務委託　26万円
沢内病院会計（資本的収支）	1億3268万円	330万円	1億3598万円	病院表示看板設置工事　330万円　ほか

※表中の金額は、万円未満を切り捨てていますので合計が一致しない場合があります。
※沢内病院会計は、民間などで採用している複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

○請願には議員の紹介（署名）が必要です。議員の紹介のないものは陳情として取り扱います。

事前通告書や会議録は、その都度町ホームページに公開しています
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/

ここが聞きたい 一般質問

6月定例会では6人が質問しました

佐々木孝道 議員 @Nishiwagagikai
- 防災、災害時の対応
- 高速光ファイバー通信の活用

一般質問を終えて
防災は、本番を想定し周到な備えと大胆な行動が不可欠

髙橋　和子 議員 @Nishiwagagikai
- 防災と災害時の備え　・生活保護制度
- 子どもの発達保障に関する取り組み

一般質問を終えて
問題はできるだけ早々に検討していかないと深刻化する

淀川　　豊 議員 @Nishiwagagikai
- 協働のまちづくりと住民参画
- 第二次総合計画の策定

一般質問を終えて
手法としての住民参画では意味がない。そこには心がないから

刈田　　敏 議員 @Nishiwagagikai
- 防災について　・自主防災組織との連携
- 災害用非常食の備蓄　・消防団について

一般質問を終えて
自助が出来て、共助、公助が出来る！

児玉　正彦 議員 @Nishiwagagikai
- 大八郎川河川工事　・岩手県交通の運行時刻の変更
- 生命尊重の町としての今後の取り組み

一般質問を終えて
「禁煙宣言の町」の提案に、前後左右から冷たい視線が！？

髙橋　輝彦 議員 @Nishiwagagikai
- 町内保育施設の運営形態

一般質問を終えて
町立保育所民営化は、今後の西和賀町に必要不可欠だろう！

議会傍聴はどなたでもできます。中座もできますので、時間にしばられることもありません。是非、生の議会をお聞きください。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

西和賀町議会では、議員が質問できる時間は30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

質問は、議員と町長が対面し、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務づけています。

・登壇順（質問順）

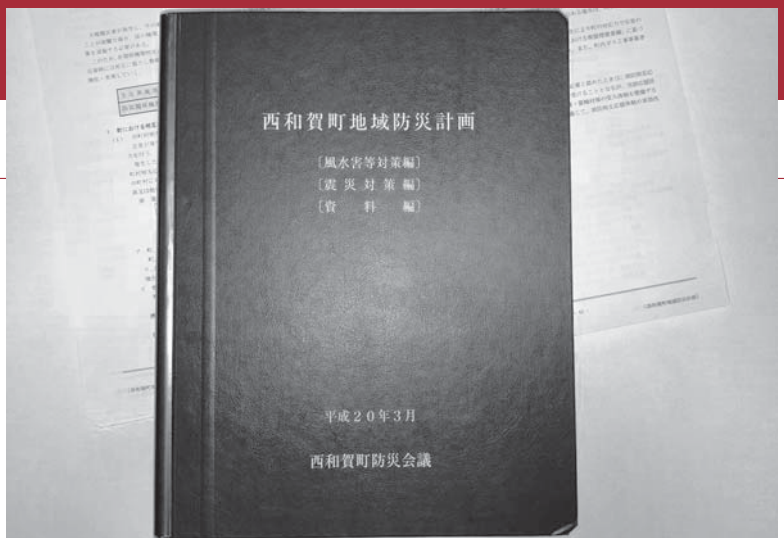
公平をきすために、通告書の届出順にくじ引きをし決定しています。

質問

地域防災計画の見直しは、なぜ遅れているのか

町長

岩手県地域防災計画の改定内容を反映させるため



平成20年３月に完成した地域防災計画。
これからの地域防災計画には、昨今の災害対策を盛り込んだ計画を望みます。

防災・災害時の対応

質問 27年度の町長施政方針の中で、西和賀町地域防災計画を27年度中に見直すと説明されたが、これが28年7月にずれ込んだ原因は。

町長 今回の地域防災計画見直しは、岩手県地域防災計画改定の内容を反映させていくためと、熊本地震が発生したことで、早急に課題となって出てきたことも、新たに計画に織り込んでいけるものがあれば対応したいという思いで、計画の見直しを行っている。

質問 防災計画はあらゆる災害に対する行動指針であり、この町の生命と財産を守る大事なマニフェストでもある。

もし、私たちの町が熊本地域と同じ状態になったら、防災計画の見直しの遅れで大切な生命や財産を無くしていたかもしれない。その懸念をどう考えているか。

町長 防災計画は、あくまでも町の基本的な行動、向き方、計画に基づき、その対策をしていくということだ。ただ、災害は、どういうかたちで襲ってくるかわからず、またその計画が全てをクリアするものではないということを、住民の皆さんが認識の上、私どもは責任を持って、行政でできることを計画したい。

また、一つのけじめであった期間に計画を完成できなかったということは、申し開きをすることはできないというふうに思っている。

質問 生活と密着し、身近な情報伝達手段でもあるラジオの難聴地域に対し、国の補助事業を活用して改善をしてはどうか。

町長 国の基本的な考え方は、ラジオの難聴、中波の難聴地域は、全て衛星放送に切り替えて克服していくという考え方があったようだ。まだ、そのような事業があるのであれば、精査をして、町にとって有効に活用できるかどうか調べてみたいと思う。

【そのほかの質問】
- 災害初動時の人員配置
- 防災備蓄の必要性
- 災害時の避難支援のポイント
- 光ファイバー網を使ったテレビ情報伝達にかかる費用

佐々木孝道 議員

質問

防災面から長瀬野集落の安全のために八年橋の新設を

建設課長 検討をしているが10億円必要で計画に載せず、5年毎に点検

八年橋下流側の床止めの様子。

八年橋の安全見直し

質問 昨年の豪雨の際は、八年橋は通行止めの措置が取られた。長瀬野集落は低地にあり、堤防の決壊による洪水も不安視されるため、長瀬野会館は避難所にも適していない。また、合併前には下水管を八年橋に併設できなかった経緯もある。そこで、橋を新設し、床止めをはずし川床を下げれば橋と集落の安全が改善されるので検討すべきではないか。

建設課長 床止めを撤去すれば川床は下がるが、和賀川の河川条件が変わり様々な支障が出る。八年橋自体も床止めがあることで水位と橋脚の安全性が保たれている。八年橋上流にある水門の開閉操作の徹底と堤防決壊の可能性に係る調査を県に働きかける。また、橋の架け替えについては、下流側に1案、上流側に2案の検討をしたが、いずれの案も10億円ほどの工事費がかかることから総合計画には載せていない。

総務課長 避難場所は、今後想定災害ごとに指定の妥当性を地域と話し合っていきたい。

質問 福祉避難所の指定施設が一つもないが、町の考えを伺う。

総務課長 国は、体の不自由な人の避難受け入れのガイドラインを示している。今後、施設と協議し、指定を検討する。

子供の発達保障に関する取り組み

質問 保育の所管は教育委員会に移ったが、子供の発達保障の捉え方を伺う。また、教育委員会が湯田庁舎に移ることで現場に不安があると聞いたが、職員に説明されたか。公立と民間の保育現場における格差はないか。

教育長 子供は、取り巻く環境との相互作用で発達していく。重要なのは人との関わりで自己主体性が形成されるので、保育所の責任は大きい。

教育委員会の場所は決まっていないので、アナウンスもしていない。また、公・民の区別なく同様のサービスが提供されるよう今後も整備に努める。

生活保護の状況

質問 当町の一人当たりの所得は低いのに生活保護率が極端に低いのはなぜか。また、その相談件数はどの程度か。

健康福祉課長 昨年の相談件数はゼロ。医療費の助成が高齢者を対象にあることなどが考えられる。

生活困窮者は、役場だけでなく社会福祉協議会や地域包括支援センターの窓口にも相談に行くので、連携しながら対応したい。

髙橋　和子 議員

質問

広報活動における住民参画の考え方は

町長

町民の視点を拾いながら、広報の役割と責任を執行していきたい

平成23年２月に行われた「まちづくり基本条例策定委員会」のようす。
町民・議会・町の協働は、まちづくり基本条例の策定から始まりました。

協働のまちづくりの中での住民参画

質問 現状における地域での住民参画、あるいは協働のまちづくりの状況をどのように捉えているのか。

ふるさと振興課長 まちづくり基本条例の３大原則の一つとして尊重しながら行政運営を行ってきていると認識している。町民、議会及び町がそれぞれの役割と責任を持ち、対等な立場で協力するという協働の定義からすれば、まだその段階までには至っていない。それを作るためには住民の自治組織のあり方について今後検討していく必要がある。

質問 町政で、住民参画をどのような位置づけにされているのか。

ふるさと振興課長 参画の機会の保障として、町は町政に関する重要な計画の策定及び変更並びに住民生活に重大な影響を及ぼす施策や制度の導入及び改廃をしようとするときは、町民の意見が町政に反映されるよう多様な参画の機会を設けると規定している。

行政広報の編集体制

質問 行政広報の編集体制に変更があったようだが、その経緯を伺う。

企画課長 合併10周年を機に、町民が町政に理解を深め、また地元により興味や関心を持ってもらうことを目的とし、広報をリニューアルし、あわせて編集体制の見直しを行った。

質問 その編集体制の変更の狙いと、これからの展望を伺う。

企画課長 紙面のオールカラー化・文字の拡大など、読みやすさを求めて改善を行った。また印刷所に全てをお願いする形から、役場の担当課で、ある程度の紙面に仕上げることができるようなシステムを構築したいと思っている。

第二次総合計画の策定と住民計画

質問 第二次総合計画策定における住民参画の考え方を伺う。

企画課長 現行の後期基本計画の策定作業を踏まえつつ、他の市町村の事例も参考としながら、多様な住民参画の機会を設けたい。

質問 第二次総合計画には、これまで以上にこれから地域を担っていく世代や子育て世代など若い世代の考え方を反映させたものにしていかなければならないと考えるが。

企画課長 非常に重要なものと考えている。まちづくり委員会の取り組みや他の先進事例を参考にしながら、声を反映させる方法を検討していく。

淀川　豊 議員

質問

非常食の備蓄は必要だと思うが

総務課長

建設予定の消防署並びに各部署との検討も必要と認識

町で保有する消防設備。
長期的、且つ、しっかりとした計画に基づいた運用が必要です。

地域防災について

質問 西和賀町地域防災計画策定の進捗状況と今後のスケジュールを伺う。

総務課長 西和賀町地域防災計画は昨年度から見直しを開始し、本年7、8月頃を目途としている。今年3月に改定された防災計画の内容と町の組織機構の再編などを原案に反映させ、第2回防災会議を開催する。再度意見をもらい、最終的に第3回の防災会議を経て決定したいと考えている。

自主防災組織との連携

質問 自主防災組織が連携するとすれば、人が増える分避難場所や指示が非常に難しいと思うが。

総務課長 今年度は、自主防災組織の関係者に集まっていただき、他の地区の活動を見学してもらいながら、各地区でできるスタイルを持っていただければと考えている。ある程度の動きが出来るようになり、合同で訓練するような形に持っていき、お互いカバーしあえるような訓練になればと考えている。

災害用非常食の備蓄

質問 非常食の備蓄が必要と思うが、現状と今後の計画を伺う。

総務課長 国の指針から3日程度の考え方で整理していきたいと考えている。防災会議の中で相談しながら検討していかなければいけないと思う。

質問 消防署の中に備蓄をしていただきたいと考えるが、どうか。

総務課長 消防署建設も踏まえ、一番ベストな備蓄方法を検討していく。

消防団について

質問 今後の人口減少を迎えながら消防団の維持、強化を進める上で、組織の見直しを早急に検討する時期と思うが。

総務課長 消防団としての組織がきちんとしているので、部の持ち方、行政区との兼ね合いは幹部会議の中で議論しながら進めていければと思う。

質問 消防団の機械器具装備等の更新には町の予算経費が関係する。このことを消防団にだけ任せては無理と考える。長期的にしっかりとした計画を立て進めていかなければならないと思うが。

町長 長期的な視野に立っていかなければいけない事は大いにあると思う。消防団限りの、行政区限りの協議だけでは決めきれない部分などもあるので、地域社会全体、防災組織も含めた地域との相談の中で今後地域をどう守るかに消防団の役割も含めながら協議事項の一つに考えている。

刈田　敏 議員

質問

無農薬有機栽培の農産物を食する事は究極の予防医療だ

児玉　正彦 議員

ヘルスツーリズムに結びつけた形の中で観光に

町長

西和賀さわうち病院に乗り入れるバス。
バスの本数が少ないことは、住民にとって困ることです。

大八郎川河川工事

質問 貝沢の大八郎川河川改修検討資料作成業務委託事業の進捗状況と今後の工事の着手について伺う。

建設課長 平成26年と27年度の業務委託事業は終了している。今後の計画として、用地測量及び登記業務を実施し、それが終了した後に下流側から2年かけて工事を実施する。

質問 用地測量と登記業務を早め工事に着手することにより、大雨の度の氾濫がなくなる。しかし、町単独の事業としては負担が大きいのでは。

建設課長 準用河川に変更して事業採択されるとなると、総事業費が4億円以上でなければ対象にならない。その分の3分の2が町負担となるので難しい。屈曲している部分を真っ直ぐにし、河道掘削で流量を確保して護岸工事をしておくことにより災害の対象になるのではと思う。

岩手県交通の運行時刻の変更

質問 県交通の運行時刻の変更により、役場、農協の用足し、病院の診察帰りのバスが無くなり大変困っているという声が大きい。その対応を考えているか。

町長 早急に聞き取り調査し今年度の上半期をもって何らかの手を打つ。

生命尊重の町としての取り組み

質問 深沢晟雄村長の業績を基調とする生命尊重の町として予防医療に成果を上げてきているが、守りの予防医療からグレードアップして攻めの予防医療に取り組むことが急務だ。医食同源の言葉通り、体に良い食物を摂取する為には、無農薬有機栽培こそが究極の予防医療であると思う。これを町の政策として取り組むべきで、町長が掲げている健康づくりツアーにも取り組めると思うが。

町長 無農薬有機栽培による健康な野菜、農産物を食として提供し、ヘルスツーリズムに結びつけた形の中で観光に結びつける展開をする。大規模経営と2本立てで着手する。農家の方の立ち上がり、仲間づくり、そしてそれに対する具体的な手法を講じながら応援していく。

質問 百害あって一利なしのたばこの喫煙は色々な病気の原因となっていることが報告されている。生命尊重の町として「禁煙宣言の町」を宣言する事を提案する。

町長 公共施設の場所においての分煙を徹底する。

質問

保育施設を民営化し、経費節減分で職員の増員と英語教育を

町長

運営形態は現状維持。だが英語教育は画期的、前向きに

休日保育を行っている町内の民営保育園。
このようなニーズは、今後も増えていく傾向にあるのではないでしょうか。

町内保育施設の運営形態

質問 延長保育に関し、幅広いニーズに目を向けていかなければならないと思うが。

教育長 そこはまだ手をつけられていない状況だ。人件費等の膨大なコストが掛ってくることから、需要とバランスを考えながら判断していく必要があると思う。

質問 財源が確保できれば取り組む準備はあるのか。

教育長 ニーズの大きさや利用する数とのバランスを見合わせながら必要性を検討していく。

質問 当町はすでに県内トップクラスの保育支援と聞くが、ニーズがあることはチャンスと捉えられないか。

教育長 例えば夜遅くまでと言われるまま行うことが町の責務において本当に正しいかどうか、慎重に考えなくてはいけないと考えている。

質問 推計では、近年の町営3施設と民営2施設合計の町負担額は7900万円、5施設を民営として試算すると4000万円近くになる。差し引き毎年4000万円前後の額が軽減される。この分を活用し、民営保育園の職員の待遇を維持し、かつ、正職員を増やせば、保護者ニーズへの対応、保育サービスの充実向上につながる。更に、その節減した分で英語教育を開始してはどうか。

町長 保育施設は、町の未来を担う人材育成の面において重要な場、保育の質の向上は単に子育てを担う親への支援に留まらず、町の将来に直結した課題だ。このことを踏まえ、保育施設は、公民を問わずそれぞれの役割を持ちながら連携を深め、切磋琢磨しながら質の高い保育の提供に取り組まなければならない。小学校を統合した今、保育施設が活力の源となり、地域コミュニティーの一翼を担っていることも考慮し、可能な限り現段階で保育施設は現状のまま維持したいと思っている。

しかしながら、保育施設で英語を教えてはどうかという非常に画期的な意見が出された。かつて幼児語学を指導する先生の話を聞いたことがあるが、幼児は、非常に柔軟なので、英語を言葉でなく音として捉える能力を発揮するので、非常に有効であると聞いている。幼児期から英語等を指導し、音に慣れさせるのは、人を育てるという意味において有効な手法だ。それは画期的な保育に対する町の姿勢を示すことになる。そういう画期的な提言に対しては、前向きに向き合っていきたい。

髙橋　輝彦 議員

シリーズその後を追う㉙

〔このコーナーでは、議員が一般質問などを通して町に問いただしたことが、その後にどうなったかをお知らせします。〕

あの課題はどうなった？

町民の利便性に期待

七内川1号橋の完成近づく

経緯

町道東側幹線は地域住民の重要な生活道路であり、災害時等には県道1号盛岡横手線の代替え道路としての役割も果たす道路として位置付けられています。

しかし、弁天区以北は一部未改良区間が多く、一部の道路幅員は4ｍと狭く大型車両や歩行者等のすれ違いに大変苦慮しています。

町では、平成20年度から弁天区～長瀬野区間の道路改良工事を行い、1673ｍ（七内川1号橋手前）の道路改良を完了しており、残っているのは七内川1号橋の架け替えのみです。

議会では

一般質問や議案審議の中で、町当局に工事の経過や工事の取り組み状況の確認をしてきました。

町からは、予算規模が大きく、複数年に分けて事業を執行していくと説明がありました。

長瀬野地域に設置された橋の土台
（平成26年７月の様子）

七内地域に設置された橋や護岸
（平成26年７月の様子）

結果

東側幹線は、平成27年度までに1673ｍの改良を完了しています。

28年度は、七内川1号橋の前後の道路工と橋面工を行い、弁天から長瀬野までの区間の道路改良を完了する予定です。旧橋は来年度以降に撤去する予定です。

本年12月の供用開始を目指し、鋭意作業が進められています。
（写真は長瀬野十字路から七内方面を見た様子）

議会行動

平成28年3月定例会以降の議会公式行動

3月21日 第28回沢内ふるさと会「東京都　東天紅上野店」 議長
25日 平成27年度末教職員定期人事異動による辞令交付式「町内」 議長
平成27年度西和賀町教育委員会並びに西和賀町体育協会表彰式「町内」 議長
29日 転出教職員送別会「町内」 議長
4月1日 西和賀町病診連携推進会議「町内」 議長
平成28年度町職員辞令交付式「町内」 議長
6日 平成28年度教職員着任式「町内」 議長ほか
7日 平成28年度沢内中学校入学式 議長ほか
平成28年度湯田中学校入学式 副議長ほか
平成28年度沢内小学校入学式 副議長ほか
8日 平成28年度湯田小学校入学式 議長ほか
西和賀町消防関係者歓送迎会「町内」 議長
岩手県立西和賀高等学校平成28年度入学式「町内」 議長ほか
平成27年度転入教職員等歓迎会「町内」 議長
13日 北上市議会正副議長就任挨拶来庁「町内」 議長、副議長
14日 県南地区町議会議長会監査対応「議長室」 議長、局長
16日 平成28年度北上交通安全協会沢内支会総会「町内」 議長
19日 平成28年度西和賀農業振興センター総会「太田老人福祉センター」 議長
24日 第28回昭和新山国際雪合戦大会「東部レイダース」優勝祝賀会「町内」 議長
25日 議会運営委員会「町内」 議長、議運委員、事務局
第1回事務局長会「岩手県自治会館」 局長
26日 第19回安ヶ沢かたくりまつり開会セレモニー「安ヶ沢現地」 議長
27日 平泉町議会正副議長就任挨拶来庁「議長室」 議長、副議長
28日 平成28年春の交通安全功労者等の表彰式「江釣子地区交流センター」 議長
西和賀上土地改良区役員との懇談会「町内」 議員9人、事務局
30日 北上・和賀地区戦没者追悼式「町内」 議長ほか
5月3日 平成28年度沢内遺族会総会「町内」 議長
県内JSS3校合同合宿開校式「町内」 議長
8日 平成28年西和賀町消防演習及び祝賀会「町内」 議長ほか
12日 町政調査会幹事会「町内」 町政調査会幹事、事務局
平成28年度西和賀町老人クラブ連合会総会「町内」 議長
13日 平成28年度県南地区町議会議長会臨時総会「金ヶ崎町Ecru」 議長、副議長、局長
平成28年度県南地区町議会議長会総会「金ヶ崎町Ecru」 議長、副議長、局長
平成28年度沢内中学校運動会「町内」 議長
平成28年度湯田中学校運動会「町内」 議長
14日 平成28年度西わらびお披露目会&「ゆうパック」出発式「町内」 議長
15日 平成28年度主要地方道花巻大曲線花巻・沢内間整備促進期成同盟会総会「町内」 議長、副議長、産建常任委員長
17日 全員協議会「町内」 議員10人、事務局
18日 岩手県町村議会議員研修会「岩手県自治会館」 議員3人
平成28年度北上地区建設協議会定時総会「ブランニュー北上」 議長
19日 福岡県福津市議会広報調査特別委員会視察対応「議員会議室」 議長、広報正副常任委員長、事務局
平成28年度湯田温泉峡旅館組合総会「町内」 議長
20日 平成28年度西和賀町納税貯蓄組合連合会定期総会「町内」 議長
21日 平成28年度沢内小学校大運動会「町内」 議長
平成28年度湯田小学校大運動会「町内」 議長
23日 平成28年度西和賀商工会通常総会「町内」 副議長
24日 平成28年度県土整備部関係団体通常総会合同総会並びに講演「盛岡グランドホテル」 議長
26日 平成28年度岩手県立西和賀高等学校教育振興会総会「町内」 議長
27日 平成28年度北上地方交通安全協会通常総会「江釣子地区交流センター」 議長
28日 盛岡中央消防署庁舎落成及び岩手県中央消防指令センター開設記念式典「盛岡中央消防署」 議長
29日 第36回河北新報錦秋湖マラソン「町内」 議長
30日 平成28年度町村議会議長・副議長研修会「東京都　中野サンプラザ」～31日 議長、副議長
31日 株式会社エステック第24期定時株主総会「町内」 議長
6月2日 議会運営委員会「町内」 議長、議運委員、事務局
3日 西和賀高等学校魅力化推進委員会平成28年度総会「町内」 議長
5日 岩手駐屯地創立59周年記念行事「陸上自衛隊岩手駐屯地」 議長
平成28年度西和賀高校野球部後援会総会「町内」 議長
7日 平成28年度西和賀町観光協会総会「町内」 議長
10日 全員協議会「町内」 議員11人、事務局
11日 第14回湯田ふるさと会「上野　蓬莱閣」 議長
平成28年度北上地方交通安全協会湯田支会通常総会「町内」 総務常任委員長

議会内部の会議は省略しています。
また、行事名も一部省略しています。

御意見と御感想をお待ちしています

西和賀町議会だよりでは、「読みやすく、わかりやすい議会広報」を目指して編集に取り組んでいますが、皆さんからのご意見やご感想に耳を傾けながら、よりよい議会広報づくりに心がけていきます。

電話は85-3416・FAXは81-2008です。

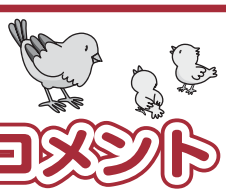
このように使いました

議長交際費をお知らせします

（平成28年3月4日～6月14日までの内訳）

お祝い	7件	2万2000円
会費	19件	10万5500円
お悔み（花輪なども含みます）	0件	0円

議会だより読者からのコメント



議会だより紙上クイズで寄せられたコメントを掲載します。

◆横文字もあまりなく、また、あったとしても紙面の下に説明があるので高齢の私にも少しは分かります。（若畑の方から）

◆ちょっと、紙面が真面目すぎ。例えば議員写真を似顔絵にしても面白いかも。（上野々の方から）

◆議員さん方の想い・考え方などが分かりやすく顔写真入りなので、より身近に感じることができています。これからも地域住民の代表としての活躍を期待しています。（湯本の方から）

西和賀町議会
住民の負託に応える議員を目指して

齋藤岩手県立大学副学長の講演を熱心に聞く議員

５月18日、岩手県自治会館で平成28年度町村議会議員研修会が行われ、西和賀町議会から淀川豊議員、佐々木孝道議員、高橋輝彦議員が参加しました。

この研修は、岩手県町村議会議長会（昆暉雄会長）が町村議会議員が住民の負託に応え、その職責を十分に果たすよう自治体の様々な制度を学ぶことを目的にしており、今回は県内町村議会から１００人以上の参加者がありました。

研修内容は、岩手県における総合戦略の状況と課題、マイナンバー制度の活用と課題、地方自治と議会の役割の３つで構成され、各地域で本格的に実施されている地方創生総合戦略の実情や今後の方向性や平成28年から開始されたマイナンバー制度の具体的な中身、地方議会改革のようすなどを学びました。

研修を受けて
西和賀町議会議員　淀川　豊

町村議会議長会主催の町村議員研修に西和賀町議会からは３人で参加してきました。

私は、これまでも数回参加したことがあるわけですが、毎年その研修内容は、その時々の社会情勢や話題になっている出来事をテーマに開催されています。今回は「総合戦略」「マイナンバー制度」「議会の役割」というテーマで、県立大学副学長をはじめ地方行政を研究している教授から講演いただいたわけですが、岩手に居ながら、こういった機会を頂いたことは非常に貴重であり、今後の活動に直結できるような内容でした。

今回の研修で学んだ知識を生かしながら、議会議員活動に励みたいと思います。

北上市議会西和賀町議会合同研修会
若者を地域に呼び込むヒントを学ぶ

佐々木共同代表取締役の説明を熱心に聞く
北上市議会西和賀町議会両議員

７月19日、沢内バーデンを会場に当町議会と北上市議会との研修交流会を開催しました。

この研修会は両市町の議員が交流を深め、北上地方の問題を共有し課題解決を図るために毎年交互に会場を変えながら開催しています。

今回は、当町の地域おこし協力隊相談支援事業を行っている株式会社ファウンディングベースの共同代表取締役　佐々木喬志氏を講師に迎え、まちづくりと人材育成の内容を学びました。

佐々木共同代表取締役から、地域に若者を連れてくることとして、若者へ役割や裁量を与え、失敗を受け入れる「地域の覚悟・若者自身の覚悟・会社の覚悟」が必要との説明があり、皆真剣に話を聞きました。

広報編集常任委員会
手に取ってもらえる議会だよりを目指して

当町議会だより製作に質問をする福津市議会議員の皆さん

広報編集常任委員会（淀川豊常任委員会委員長）は、５月19日に福岡県福津市議会議会広報調査特別委員会（豆田優子特別委員会委員長）の視察研修受け入れを行いました。

研修では、両市町の議会だよりを手に取り、連載記事の制作や企画内容をお互い研鑽しました。

両委員会とも、さらに住民の目線に立つ、手に取って見てもらえる議会だよりを発行できるよう、熱心に情報交換をしました。

福岡県福津市議会だよりは、こちらのホームページから閲覧できます。
http://city.fukutsu.lg.jp/shigikai/tayori/tayori.html

みなさんと議会を結ぶ
西和賀町 議会だより
No.43

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.29

西和賀高校バドミントン同好会

本コーナーは小中高生のクラブ活動などを紹介していきます

西和賀高校バドミントン同好会は、今年発足された団体で、２年生２人、１年生７人で構成されています。

練習では、主将が中心となり、時間配分や内容を調節し、練習試合等が近くなると試合形式の練習を盛り込むなど、自分たちで進んで取り組んでいます。

上位レベルの選手と戦えるよう部員一丸となって頑張っていきます。

会長兼主将
内記綾香さん
（２年・前郷）

今年から同好会として復活し、会一丸となって練習に励んでいます。

６月25日と26日に行われた花巻北高と千厩高との練習試合では、花巻北高戦ではダブルスで出場し、日頃の成果が思うように出ず惜敗しましたが、千厩高戦ではシングルで出場し、少しずつ調子を取り戻し勝利することができました。

これからは、残り少ない活動期間で自分の技を磨き、上位レベルの選手と戦っていけるよう自分を鍛えていきたいです。

田中光平さん
（１年・川舟）

小学校高学年からバドミントンをはじめ、日々練習に励んでいます。

自分はサーブが苦手で、サーブをしても相手がすぐ返してくることが多いです。今後は相手が飛び込み辛いようなサーブを打てるよう練習に励み、前沢高のような上位レベルの選手に勝てるよう頑張りたいです。

未だ〜く「生涯現役」です (26)

本コーナーは老人クラブの活動などを紹介していきます

白木野共楽会　会長
髙橋（たかはし）美通（よしみち）さん
（79歳・白木野）

白木野共楽会の歴史は、昭和38年の老人福祉法が施行されて間もない頃から始まります。当時の会長は、クラブを結成するため、一生懸命会員募集を行っておりました。同時に、細内地域から「クラブを結成するのであれば、私たちも加入したい」との申し入れもあったと聞いています。当時、公民館長をしていた私も、それならば祖父母を加入させようと募集に協力しました。その私が、６代目会長になるとは、夢にも思いませんでしたし、ただ歳月の経つ事の早いのには驚くばかりです。

共楽会は、字のごとく、会員共に楽しむ会という意味で、それぞれ年１回行われる慰安研修と総会が会員全員の楽しみと思います。慰安研修は、日帰りの出来る近くの温泉地に行きゆっくり過ごし、総会は公民館などに集まり親睦を深める場としています。また、活動は他の地域と協力し合いながら行う結ハウス前にある厄払い人形の衣替えや厄払い人形製作の伝承活動をはじめ、国・町道の草刈りや地域の花壇整備などを行っています。

気がかりは、地域の担い手は既に高齢者が多いのですが、クラブ入会となるとなかなか入会してくれないのが現状で困っております。

岩手県老人クラブ連合会から優良単位クラブとして表彰された賞状を囲んで

暫時休憩

照りつける真夏の日差しが西和賀にさしこむ季節となりました。

新年度が始まり、半年が経過しようとしている中、平成28年度事業の執行も中盤にさしかかっています。

我々は、とにかく新しいものや外の世界に興味を惹かれ、外のことに目先が向いてしまいます。７月に議会で島根県に視察研修に行ってきました。先進地で得たものもありましたが、今まで以上に西和賀地域の良さを再確認しました。

まちづくりには地域外からの刺激で起きる変化と地域内から起こる変化のバランスが大切と思うとともに、地域内から変化を起こすことも充分できると思っています。

広報編集常任委員長　淀川　豊

【議会だよりは広報編集常任委員会で編集しています】

委員長　淀川　豊
副委員長　髙橋　和子
委員　深澤　重勝
〃　佐々木孝道
〃　髙橋　到

発行日／平成28年8月1日・年４回発行
編集／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会
印刷／鶴田印刷株式会社・横手市

発行人／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会　委員長　淀川　豊
〒029-6902 岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田２地割81番地１
西和賀町（沢内庁舎）TEL0197(85)3416 FAX0197(81)2008

VEGETABLE OIL INK